

## コロナ禍における感染症対策について

まだまだ終息の目途がたたない中、また新しい年が始まります。感染症対策が入居者様、家族様の安心と安全を守ることになります。入居者様、ご家族様には様々な制限の中、施設運営にご協力頂き、ありがとうございます。光明荘での感染症対策の取り組みを簡単にご紹介させて頂きます。

### ①15分以上対応する際にはゴーグル、手袋の着用。消毒の徹底。

飛沫が目に入り感染する可能性が言われております。食事介助、入浴介助などは長時間、入居者様と密に接することが多いです。そのため、職員は15分以上の介助に入る際はゴーグル、手袋の着用をさせて頂いております。

職員1人ひとりに携帯消毒液を配布しています。1ケア1消毒の徹底に努めています。



### ②対面にならない環境づくり（ショートステイ）

入居者様同士がお食事をされる際、対面だと飛沫による感染が考えられます。特にショートステイでは、利用者様一人ひとりが様々な場所から集まるところです。



普段の席を全て前向きにすることにより、対面による飛沫感染の予防に努めております。

利用者様にもマスク着用の協力をして頂き、レクリエーション時も対面にならないで出来る催しを考え、体操や季節に合わせた工作を行っています。

### ③オンライン面会、ドア越しの面会

直接の面会はまだ再開の目途が立っておらず、ご不便をおかけしております。



光明荘では、予約制で1ヶ月2回程度の玄関ドア越しの面会を実施しております。

また、体調不良で玄関まで来れない方や家族様が遠方な方に対しては、ZOOMアプリを使ったオンライン面会を実施しております。

来年度は新型コロナウィルスとの共存も視野に考えなければいけません。光明荘では、まだ制限がかかる状況下ですが、感染症対策をしながらの安心した生活を送っていただけるように日常ケア、行事等を取り組みたいと思います。

生活相談員 角谷 祐子



## 苦情受付状況

苦情解決委員会より

### 近隣住民の方からの電話（匿名）

「幅員狭い道路で歩行していた所、後方から光明荘の車両が速度を落とさず走り去って、当たるかと感じた。気を付けてほしい」とのお申し出がありました。ドライブレコーダーにて確認いたしますと、歩行者の横を通り抜ける際にブレーキを踏んで徐行する様子が見られませんでした。今後は制限速度を遵守し、歩行者等と接近する場合は速度をおとすようにいたします。お申し出いただいた方には誠に申し訳ございませんでした。



## 編集後記

昨年はコロナで始まりコロナで終わりました。今年はどんな予測不能な社会に立ち向かって行くのかを試される、新年度の幕開けとなります。この先、ご利用者様や施設職員共々元気で笑顔が絶えない様に、この状況を乗り越えて行きたいと思います。



第62号

2021年2月号

光明荘

発行人: 荘長 八木 透  
発行: 〒594-0031  
和泉市伏屋町3-8-1



莊長  
八木 透

令和3年を迎ましたが、まだコロナ禍にあります。昨年より、引き続き新型コロナウイルス感染予防に努めており、施設入居者様及びサービス利用者様、ご家族様には多大なるご協力を頂き感謝いたします。また、地域のボランティアの方々にも、ご協力いただきありがとうございます。

昨年11月には、デイサービスで2名の新型コロナウイルス陽性者が判明したこと、短期間ではありましたが休業させていただき、いろいろと心配、ご迷惑をお掛けしました。

感染症予防の対応として、ドア越しやZOOMの利用による面会、集合行事の中止、3密を防ぐ配置、館内の消毒や手指消毒の徹底、職員のマスクやゴーグルの着用など、引き続き行っています。1月末には、デイサービスフロア及び送迎車輛の抗

菌加工を施工しました。今後の予定として、各玄関にA-サーマルカメラの設置を予定しております。

現在は緊急事態宣言の中で、生活上様々な制限があります。今後は「withコロナ」時代を考え、面会の方法やボランティアの受け入れ、地域との関わり等、対応を検討してまいります。

報道等でご存じかとは思いますが、今年4月には介護報酬の改正が予定されています。確定次第、各事業所より内容の説明させていただきますので、ご対応をお願いします。

最後に、経営母体である社会福祉法人大阪府社会福祉事業団が設立50周年を迎えもなく迎えます。50年という節目を迎えるにあたり、地域に根差した福祉施設としての役割を再認識し、事業を進めてまいります。



特別養護老人ホーム  
デイサービスセンター  
ヘルパーステーション  
居宅介護支援事業所  
ショートステイセンター  
訪問入浴センター  
福祉有償移送サービス  
訪問看護ステーション

障害者支援事業  
地域包括支援センター  
いきいきネット相談支援センター  
ホームページURL <http://komyoso.jp/>

TEL.0725-56-1882  
TEL.0725-56-0313  
TEL.0725-50-5656  
TEL.0725-56-8111  
TEL.0725-56-1882  
TEL.0725-56-0313  
TEL.0725-50-5656  
TEL.0725-57-8230

ショートステイ  
デイサービス  
ヘルパー

TEL.0725-56-1886  
TEL.0725-56-2003

利用者的人格・人権を尊重します。  
サービスに利用者の意志を尊重します。  
健康・安心・豊かなサービスを提供します。

これらの理念を掲げ、利用者の身になって抑制のないやさしい介護を実施しています。

## コロナ禍における施設運営について



## 今年度の行事について

今年度は外部ボランティアの受け入れや大規模行事はできませんでしたが、施設内では季節に合わせた行事を感染症対策をしながら行いました。

今まで、エントランスにみんなで集まって催しを行っておりましたが、行事担当職員が各フロアを周り、フロアごとで催しを行うことにより三密回避に努めました。

敬老祝賀会では、午前にフロアごとに式典、午後からはドリフターズの髪ダンスや東村山音頭をみんなで踊りました。

ハロウィンやクリスマスでは、職員が仮装して各フロアを周り、パレードを開催。

お正月には、獅子舞で各フロアを周り、新年を良い年で迎えるよう皆様で楽しみました。

来年度もコロナと向き合っていくことになりますが、入居者様には1日1日を楽しく、元気で過ごしてもらえるように取り組みたいと思います。



## 入居者様のケア充実への取り組み

### 医務科での取り組みについて

今年度は、「看護師のチーム制導入」に力を入れてきました。

今まで、120名の入居者を1日4~5名の看護職員がみんなでケアをする形でしたが、いきいき棟・やすらぎ棟をAチーム、せせらぎ棟・ふれあい棟をBチームに分け、看護職員に棟担当としての意識づけを行いました。

チーム制により、1人の看護職員の1日の勤務で把握する人数が120人から約60人になり、より1人ひとりの入居者の状態把握に努めることができます。

さらに固定した看護職員の配置により、棟介護職員とも密にコミュニケーションが図られ、医療と介護の連携が取りやすくなりました。

今後は、施設サービスの充実を目指し、ケアプラン策定にあたりACP（アドバンス・ケア・プランニング）の考えを取り入れ、より入居者様の施設生活の充実を図りたいと思います。

※ACPとは

将来的な状態変化に備え、将来の医療ケアについて入居者を主体に、そのご家族や医療・介護チームが繰り返し話し合いを行い、入居者の意思決定を支援するプロセスのことです。入居者の人生観や価値観、希望に沿った、将来の医療及びケアの具体化することを目指しております。



### 地域抱括

地域の高齢者がいつまでも住み慣れた町で暮らしていくよう、総合的にサポートしています。今年度は積極的な地域活動は難しい状況でしたが、ご自宅で取り組める体操の提案等、新たな視点を取り入れています。今後は新しい生活様式に沿った新たなつながり方を、地域の方と共に考えていきます。

### 居宅

新型コロナウイルスの感染リスクを減少させる目的で、事業所内の蜜を防ぐための在宅ワークを取り入れています。コロナ禍においても、引き続き安定したサービス提供に努めてまいります。

### 訪問看護

24時間連絡が取れる体制のもと、重い病気を患っている方や看取りを希望されている方へも積極的にサービス提供実施しています。コロナ禍で病院での面会が難しい方も、在宅医療を継続する事でその方の健康と暮らしを支援しています。精神疾患を患っておられる方や特定疾患の方へも支援します。

### ヘルパー

2人派遣でのサービス提供や、介護保険だけでなく障がいをお持ちの方へも積極的にサービス提供を行っています。また時間や曜日の希望にも応じてまいります。是非ご相談下さい。また、感染症対応の取り組みを継続しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。ご利用者が、安心してサービスを受けていただけるよう、努めてまいります。

## 感染症対応について

手指消毒や換気だけでなく、職員は常時ゴーグル着用も行う等新型コロナウイルス対策に力を入れ、安心して利用頂ける環境作りに努めています。併せてオゾン発生器や除菌加湿空気清浄機の設置を行い、1月末に(株)ブレスに依頼し、ティーサービスフロア及び送迎車の抗菌加工を施工しました。オールチタンAT254という薬剤をコーティング処理し、付着したウイルス等を不活化させる働きがあるとのこと。防カビにも効果あるそうです。



## 行事での取り組み

季節柄を取り入れながら、自立支援に向け楽しんで頂けるプログラムを提供しています。また、機能訓練指導員が主体となり、自立支援に向けた本人の望む形での機能訓練メニューを再提案・実行すべく、生活環境や居宅環境の課題を抽出する為の情報収集を行っています。送迎車に添乗し、自宅へ訪問させていただくこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

